

解答または解答例及び出題意図

年度	2025 年度
研究科	脳科学研究科
専攻・コース等	脳科学専攻
試験科目	外国語（英語）
<p>問 1 下線部の内容を過不足なく含んで、和訳していることを評価した。 【解答例】 たとえ 2 人の個人が同じ結果を出すつもりで同じタスクに取り組んだとしても、彼らの感情的経験、タスクへの取り組み方、行動（これらを「動機づけ状態」と呼ぶ）は、彼らがタスクの特性をどのように受け止めるかによって異なる可能性がある。</p> <p>問 2 下線部の内容を過不足なく含んで、英訳していることを評価した。 【解答例】 Other research suggested that the reward network reflects more general motivational engagement independent from positively valenced subjective feelings.</p> <p>問 3 過去の研究をまとめるだけでなく、過去の研究での問題点を明示していることを評価した。 【解答例】 金銭報酬を使っており、報酬ネットワークが金銭報酬によって活動したのか、内的動機づけ（タスクの楽しさ）によって活動したのか不明であること</p> <p>問 4 以下の二つの要素が説明されていることを評価した。 (1) 内発的にモチベーションを引き起こすようなゲームのようなタスクを使用したこと (2) 獲得したポイントは金銭報酬とは関係しないようにしたこと</p> <p>問 5 文章に沿って以下の内容が説明されていることを評価した。 【解答例】 参加者は 5 秒時点の 50 ミリ秒の区間でストップウォッチのストップボタンを押すように求められる。 ブロックの種類には接近（「成功したら点数を得る」）と回避ブロック（「失敗したら点数を失う」）があり、どちらのブロックかはブロック開始時に参加者に示される。 各試行の点数は各試行の開始時に示され、参加者がストップウォッチを止めた後に、その試行が成功か失敗かが参加者に提示される。</p> <p>【出題の意図】 学術研究をおこなうためには英語で書かれた学術論文の背景、目的、方法、結果、考察を正確に読解し、伝わるように記述する能力が必須である。これらの能力を評価するため実際の学術論文を題材にした読解力および英作文の問題を出題した。</p>	